

# せせらぎ

## 想いに応える

しとしと降る雨に季節の移ろいを感じる頃となりました。梅雨には何となくネガティブなイメージがありますが、植物の緑がいっそう輝き、紫陽花が鮮やかに咲き誇る美しい季節でもあります。子どもたちにとっても、雨の日は心と体をじっくり育む良い機会です。静かな時間の中で雨音に耳を澄ませ、本に親しみ、友達とじっくり向き合い、思いやりや工夫の心を育てられるよう支援や声掛けをしていきます。

さて、教育界には「魔の6月」や「6月危機」という言葉があります。6月は祝日がないため疲労やストレスがたまりやすく、また新年度の新鮮な勢いが落ち着き、慣れからくる気の緩みや気候の変化による体調不良など、様々な影響が出る時期でもあります。子どもたちに落ち着きがなくなり、トラブルや交通事故も大変多い月とされます。そこで、先日の校長講話では「礼を正す」という話をしました。「素晴らしい学校支援をしてくださっている保護者や地域の方々、毎日大変な労力をかけて授業や活動の準備をしている先生方。それらの尽力はすべて、長沼小児童であるみんなのため。それなのに、もし一生懸命に取り組まないとしたら、それは保護者や地域の方々、先生方に対して「礼を欠く行為」になってしまいます。でも、みんなは絶対にできるはず！そういう人たちの想いに、態度と行動でしっかり応えよう！」という内容です。

「リスペクト」とは我慢や従属ではなく、相手を大切にすること。相手が大人だから、先生だからということを超えて、一人の人間として、自分たちのため尽力してくれる人たちに感謝と敬意をもち、それに態度と行動でしっかり応えていくことの大切さを学ばせたいと思います。

## 臨海自然教室

5月26日（月）～28日（水）に、5年生がとちぎ海浜自然の家にて宿泊学習を実施しました。今回は生活館ではなくロッジでの宿泊でした。初日はビンゴ・オリエンテーリング、2日目は砂浜活動・砂の造形、塩づくり、ナイトハイク、3日目はジェルキャンドルづくりを行いました。豪華な施設や大海原に歓声を上げ、宿泊学習を満喫していた子どもたち。挨拶・体調管理・助け合いがとても素晴らしい、他校や自然の家の先生方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。豊かな自然の中で、素晴らしい思い出をつくることができました。



